



東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2016~2017年度クラブテーマ
会長 岩上 義明

●本日の例会/ 2017年 1月 27日 第1426回

卓話 : イニシエーションスピーチ
奥野 敦 氏

●前回報告／2016年 1月 20日 第1425回例会 第4回クラブ協議会 13:10 ~ 14:30 「上半期各委員会活動報告・ 下半期各委員会活動計画」



会長報告 :

和歌山県の田辺RCよりいらっしゃいました榎本様へ一言
いただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。



親睦活動委員会 : (長谷川委員長)

4/15,16 の親睦旅行のご案内です。京都へ行くことになりました。現在 27 名の参加予定です。ご希望の方はご連絡ください。

広報委員会 : (浦平リーダー)

今日ボックスへ 12/16 の週報も一緒にお配りいたしました。12/16 は 30 周年記念式典ということもあります。皆様へお配りしていなかったため、遅くなりましたが本日お配りいたしました。よろしくお願ひいたします。

関会員より報告 :

昨年の年末に家族 4 人でグアムへ行った際、30 周年記念式典にいらしていたノーザングアム RC の方にお世話になりました。12/24 のクリスマスイブに家族 4 人を食事に招いてくださったり、プレゼントをいただいたりと想い出に残るクリスマスイブとなりました。

出席報告 : 会員 55 名 / 出席 34 名 欠席 21 名

ビジター : 榎本長治(田辺RC) 計 1 名 (敬称略)

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1395 / 2017. 01. 27

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「未来に向かって 皆で一歩前へ進もう！」



1月20日 15件30,000円

累計 862,500円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

岩上義明/お寒うございます。雪もチラついてまいりましたね！小林博茂/アメリカではトランプさんが今日大統領就任です。我が赤坂ロータリーも半年後に田村大統領です。河邊幸夫/本日はクラブ協議会宜しくお願いします。入沢頼二/熊本さん代理ご苦労様です。土屋東一/熊本さん代理のニコニコご苦労様です。西澤民夫/例会は欠席がちですが、バタバタ元気にやっています。熊本さんいろいろご苦労様です。佐藤仁/熊本さんニコニコお疲れ様です。関陽一/みなさん、お久振りです。朴さんの件は大変残念でした。まだ現実だと思えません。人に会いたいと思ったらすぐに会わないといけませんね。藤井万博/熊本さんニコニコ代理お引き受けくださいまして誠に有難うございました。長谷川毅/熊本さんニコニコお疲れ様です。今日は雪予報から雨に変わりましたが気温は低いですね。風邪をひかないように頑張ります。宇佐美慶太/遅くなりましたが本年もよろしくお願いします。魏芝/あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。木下京子/寒い日が続いていますが、皆様風邪に気を付けてください。戸泉邦康/2/5にK4-GP富士スピードウェイ 7時間耐久レースに各地区ロータリーの方々と出席いたします。麻布ロータリーの加藤さんも一緒です。熊本誠司/今日は例会に来る時に雪がチラチラと落ちて来て、さすがに大寒と思いました。皆様風邪をひかない様に気を付けてください。

週報 (NO1392) 記事お詫びと訂正

12/16 発行の週報(NO. 1392)裏面に、12/8 ご入会の宇佐美会員のご紹介記事が掲載されておりますが、事業所住所に誤りがありました。

【誤】港区赤坂 2-6-15 NS 虎ノ門ビル

【正】港区西新橋 1-6-15 NS 虎ノ門ビル 1 階
訂正してお詫び申し上げます。

● 次回予告 / 2017年 2月 3日 第1427回例会

卓話 : 「スーラ作『グランド ジャット島の
日曜日の午後』」

ベルギー王立美術館後任研究員 森 耕治 氏



「高齢者の運転による死亡事故急増と 自動運転システムの進歩」

ロータリーに入会して早々30年、もうすぐ「後期高齢者」の仲間入りをする年齢になりましたが、ゴルフ等に出掛ける時、自分で運転する者にとって最近非常に気になることがあります。高齢者の運転による死亡事故ニュースの多発です。

視野の低下や反射スピードの衰え等、自分で自覚する所もありますが、今の所、安全運転に徹すれば報道されているような事故には至らないだろう、と自分勝手ながら考えています。然し、「交通事故」というのは、何時・どのような状況で起きるか、想定できないということも認識しなくてはならない事実でしょう。

高齢者の運転ミスによる死亡事故多発報道に関連して注意をひかれるのが、車の「自動運転システム」技術の進歩についての報道やコマーシャル。私の家内も日常生活の中で運転する機会が多い人なので、高齢者運転による死亡事故ニュースを聞く度に、「あと4・5年も経てば、自分で運転しなくても車が目的の場所まで連れて行ってくれるようになるんじゃない? それまでの辛抱よ!」と、のたまう泰然たるもの。「本当にそうなるかな?」と私も知りたくなったので、インターネットで、「車の自動運転」というキーワードで検索をしてみました。結果、次のような事が解ってきました。

(1) 現時点での購入できる国内の自動運転システム搭載車 (2016年8月末現在)

①自動ブレーキ(衝突回避)システム

…スバル アイサイト

②自動駐車システム…日産 エクストレイル

③同一車線の中での自動運転。アクセル、ブレーキ、ステアリングを車が自ら制御するシステム

…日産 セレナ、輸入車では、ベンツ、BMW、アウディ等々が続々と販売中、又は、販売開始予定のようです。

更に、

(2) 自動運転技術には、4段階あるとの事。

- ・レベル1 アクセル、ブレーキ、ステアリングの内、部分的な運転自動化 … アイサイト・エクストレイル等

- ・レベル2 場面を限定した自動運転 … セレナ

- ・レベル3 人の操縦はほぼ不要。「手放し運転」が可能。但し、運転責任は、ドライバーにある。

- ・レベル4 人の操縦が不要になり、運転を全て機械に任せることができる。

つまり、現段階の自動走行システムは、レベル2の段階で、ドライバーの運転責任を前提としたものといえます。

私個人としては、高齢者による死亡事故対策としては、信頼できる自動ブレーキシステムの搭載が最初にやるべきことではないかと考えます。

自動運転が急速に注目されるようになったキッカケは、高齢者による死亡事故の急増もさることながら、国土交通省の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部から、「ITS構想ロードマップ2016」2020年までに、

「高速道路での自動走行及び限定地域での無人走行サービス実現に向けて」という報告書が発表された事によると思われます。トヨタやホンダ、ドイツの自動車メーカー、それに、グーグル等のIT関連企業が2017年発売に向けて、自動運転技術開発にしのぎを削っているニュースもよく耳にします。センサーやAI、それに情報通信技術の進歩発展により、家内がのたまつたレベル3での自動運転システムの実現は、2020年を待たずに実現すると思われます。本稿に関し、皆さんの御意見をお聞かせいただければ幸甚です。

1月理事会

日時: 2017年1月13日(金)午後 1:40~

場所: ANAインターナショナル東京 「春日」
出席者: 岩上、土屋、穂苅、小林、藤井(万)、長谷川、小原、入沢、河邊、田村、佐久間

計 11名(順不同・敬称略)

1. 30周年実行委員会より、記念誌発行予算について。
見積もりの提出後、不足分については検討する。
※表紙はハードカバーとせず、予算70万以内で
見積もりを依頼。
2. 新会員2名推薦受付について
金澤明彦氏、谷口友保氏2名の推薦受付を承認。
金澤明彦氏は、現会員の金澤磐夫会員のご子息であるが、入会金の支払いは原則お願いする。(推薦者へ報告)
3. 千代田グループで開催(赤坂RC主催)の3月13日(月)インターナショナルミーティングは、入会3年未満(2014年1月~)を対象とする。
登録料8,000円は個人負担とする。
4. 4月15日、16日の親睦旅行の内容については、長谷川親睦委員長と旅行担当の佐久間会員とで打ち合わせをし、19日までに会長幹事へ提出する。
※1月20日クラブ協議会に提出。
5. 3月17日ファミリーデイを開催することを承認。
会場については、親睦委員長が検討。(ホテルが取れないため)
6. 次年度 地区地域社会奉仕委員会副委員長に
石井謙次会員就任について承認。
7. 熊本会員より依頼のボーリング同好会発足について承認。
8. 1月27日例会後、アドバイザー委員会を開催。
(大日方会員より)

編集後記

新年早々朴さんがご逝去されるという悲しいことがありました。年明けに発行した週報No.1393号の30周年式典の写真の中にはお元気な朴さんのお姿があるのに…みなさんにお配りした時にはもうご逝去された後なんて。誰がこんなことを想像できたでしょうか。

会報リーダーを仰せつかつて半年が過ぎました。毎週の週報作成は、赤坂RCの一週間を確認させていただくことと同時に、私自身の一週間をも見つめなおす貴重な機会を頂戴しています。これからもしっかり意識しながら一週間をカウントし、時間を大切に過ごしていきたいと思います。皆さま、今後ともご協力どうぞよろしくお願い致します。

(浦平典子 記)